

2007A

研究テーマ名	日本のラウンドアバウトデータベースと事例集の整備
背景と目的	2009 年度より IATSS の研究調査プロジェクトでラウンドアバウトの実用展開に着手して以来、2014 年には改正道路交通法も施行され、全国各地でラウンドアバウトが増加している。これらのラウンドアバウトにおいては、その構造や用途、交通条件などの面において、様々な特徴を有するものが出てきているものの、それらの実態は必ずしも十分明らかになっていない。そこで本プロジェクトでは、ラウンドアバウト普及促進協議会や行政実務と緊密に連携しつつ、信頼性の高いラウンドアバウトデータベースの整備を図るとともに、事例集を編集することで、日本のラウンドアバウトの体系的整理を図ることを目的とする。
期待される成果	ラウンドアバウトデータベースと事例集が整備されることにより、日本のラウンドアバウトの実態評価が可能になるとともに、計画・整備の経緯や技術的検討に関わるアーカイヴとして、今後のラウンドアバウト整備に際して行政上・実務上貴重な情報を提供する。また、これらを国外のラウンドアバウトと比較することで、日本のラウンドアバウトの特徴が明らかになるとともに、国際比較評価も可能となる。